

第26回「秋田県内企業の景気動向調査」結果

(平成29年11月調査)

～ 景況感は、ほぼ横ばいで推移。先行きは依然慎重な見通し ～

【 調査の要旨 】

- **県内企業の業況**は、自社の業況判断を示す「自社の業況DI値(前年同期比)」が5.0(前回調査比0.4ポイント下落)と2期ぶりに悪化したものの、ほぼ横ばいで推移し、2期連続で「良い」超となった。「各種DI値(前年同期比)」は「営業利益」が悪化した、その他の3項目は改善となった。
- **業種別**に「自社の業況DI値(前年同期比)」をみると、建設業と製造業は改善となった一方、卸・小売業とサービス業は悪化となった。サービス業は悪化したものの、改善した建設業、製造業とともに引き続き「良い」超となった。一方、卸・小売業は「良い」と「悪い」が同数となった。
- **地域別**に「自社の業況DI値(前年同期比)」をみると、県北が▲8.5(前回調査比1.6ポイント下落)、中央が14.2(同0.7ポイント下落)、県南が▲4.5(同0.7ポイント上昇)と、県北と中央が悪化した一方、県南が改善した。中央は2期ぶりの低下となったものの、4期連続で「良い」超となった。
- **先行き見通し**は、「自社の業況DI値(前年同期比)」が▲8.7(今回調査比13.7ポイント下落)と悪化が見込まれており、先行きは依然として慎重な見通しとなっている。

【 特別調査 】

- **冬季ボーナスの支給予定**について尋ねたところ、「支給する」と回答した企業の割合は全業種では64.3%(前年比1.5ポイント上昇)と、前年に比べて若干上昇し、3期連続での上昇となった。一方、「支給しない」と回答した企業の割合は15.0%(同±0.0ポイント)と横ばいとなった。また、今季「支給する」と回答した企業に対し、昨年冬季と比べて支給額を増やすかどうか尋ねたところ、全業種でみると「さほど変わらない」と回答した企業の割合が最も高く、68.2%であった。

平成29年11月

株式会社フィデア総合研究所

目次

I. 県内企業の業況.....	1
1. 概況.....	1
2. 業種別の動向.....	2
(1)業種別の概況.....	2
(2)業種別D I 値の動向.....	3
① 建設業.....	3
② 製造業.....	4
③ 卸・小売業.....	5
④ サービス業.....	6
3. 地域別の動向.....	7
(1)地域別の概況.....	7
(2)地域別D I 値の動向.....	8
① 県北.....	8
② 中央.....	9
③ 県南.....	10
II. 景気の天気予報図.....	11
III. 特別調査.....	12
1. 冬季ボーナスについて.....	12
(1)支給予定動向.....	12
(2)支給予定額.....	14
<参考資料Ⅰ：業種別・地域別回答率>.....	16
<参考資料Ⅱ：調査の概要>.....	16

Ⅰ. 県内企業の業況

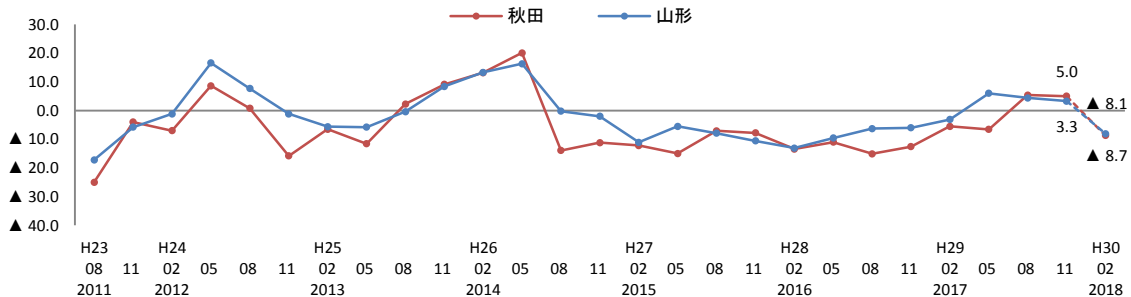
1. 概況

～ 景況感は、ほぼ横ばいで推移。先行きは依然慎重な見通し ～

県内企業の業況は、自社の業況判断を示す「自社の業況DI値(前年同期比)」が5.0(前回調査比0.4ポイント下落)と2期ぶりに悪化したものの、ほぼ横ばいで推移し、2期連続で「良い」超となった。「各種DI値(前年同期比)」は「営業利益」が悪化した、その他の3項目は改善となった。

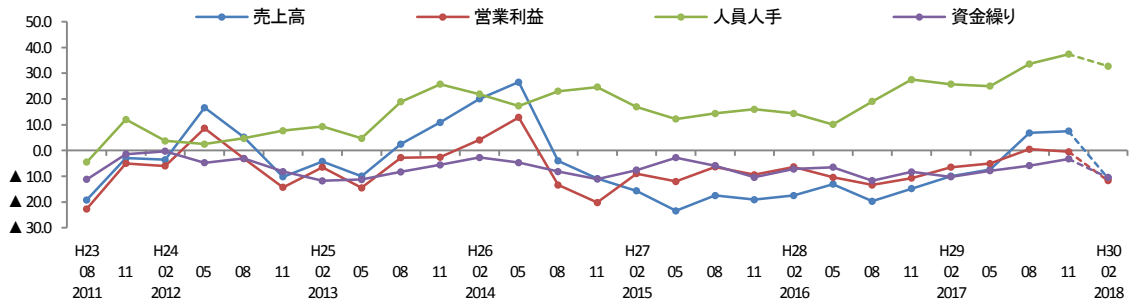
先行き見通しは、「自社の業況DI値(前年同期比)」が▲8.7(今回調査比13.7ポイント下落)と悪化が見込まれており、先行きは依然として慎重な見通しとなっている。

図表1 全業種「自社業況DI値(前年同期比)」の推移



見通し

図表2 全業種「各種DI値(前年同期比)」の推移



見通し

前年同期比の自社業況DI値

全業種 調査時(サンプル数)	自社業況(前年同期比)			売上高	営業利益	人員人手	資金繰り
	前回調査比	前回調査予測					
H28.11 (n=414)	▲12.6	2.5	▲15.5	▲14.8	▲10.7	27.5	▲8.3
H29.02 (n=401)	▲5.5	7.1	▲14.0	▲10.0	▲6.5	25.7	▲10.2
H29.05 (n=393)	▲6.6	▲1.1	▲21.2	▲7.4	▲5.1	25.0	▲7.9
H29.08 (n=407)	5.4	12.0	▲11.7	6.8	0.5	33.6	▲5.9
H29.11 (n=401)	5.0	(▲0.4)	▲8.1	7.5	▲0.5	37.4	▲3.3
前回調査比	-	-	-	(0.7)	(▲1.0)	(3.8)	(2.6)
先行き見通し	▲8.7	-	-	▲10.7	▲11.7	32.7	▲10.5
今回調査比	(▲13.7)	-	-	(▲18.2)	(▲11.2)	(▲4.7)	(▲7.2)

※ 「売上高」DI値は、建設業の「完成工事高」を含んだ値。

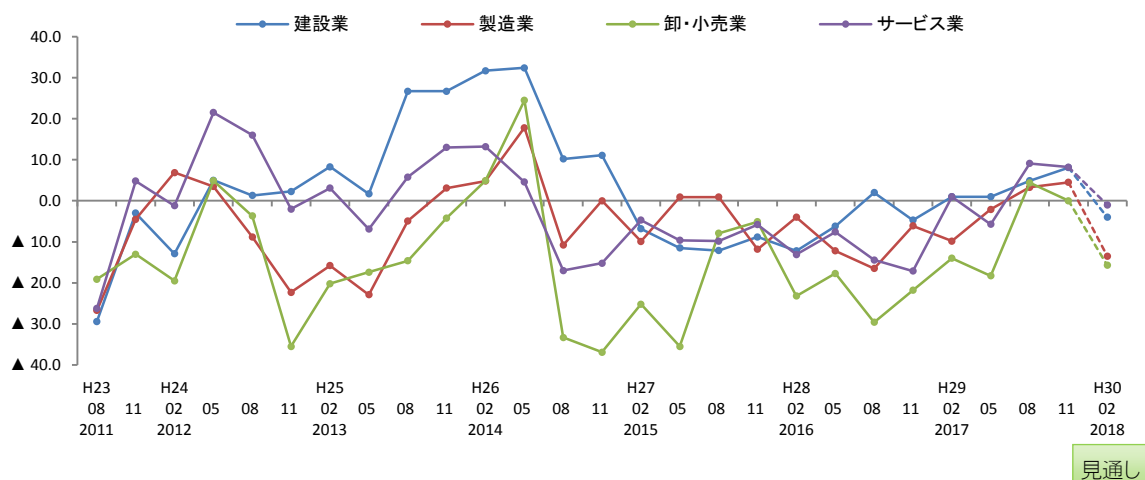
2. 業種別の動向

(1) 業種別の概況

業種別に「自社の業況DI値(前年同期比)」をみると、建設業と製造業は改善となった一方、卸・小売業とサービス業は悪化となった。サービス業は悪化したものの、改善した建設業、製造業とともに引き続き「良い」超となった。一方、卸・小売業は「良い」と「悪い」が同数となった。

業況の先行き見通しは、すべての業種で悪化が見込まれている。

図表 3 業種別「自社業況DI値(前年同期比)」の推移



前年同期比の自社業況DI値

業種別 調査時 (サンプル数)	自社業況 (前年同期比)				
	全業種	建設	製造	卸・小売	サービス
H 28.11 (n=414)	▲ 12.6	▲ 4.7	▲ 6.1	▲ 21.8	▲ 17.1
H 29.02 (n=401)	▲ 5.5	1.0	▲ 9.8	▲ 14.0	1.0
H 29.05 (n=393)	▲ 6.6	1.0	▲ 2.1	▲ 18.3	▲ 5.7
H 29.08 (n=407)	5.4	4.9	3.3	4.4	9.1
H 29.11 (n=401)	5.0	8.1	4.5	0.0	8.2
前回調査比	(▲ 0.4)	(3.2)	(1.2)	(▲ 4.4)	(▲ 0.9)
先行き見通し	▲ 8.7	▲ 4.0	▲ 13.5	▲ 15.7	▲ 1.0
今回調査比	(▲ 13.7)	(▲ 12.1)	(▲ 18.0)	(▲ 15.7)	(▲ 9.2)

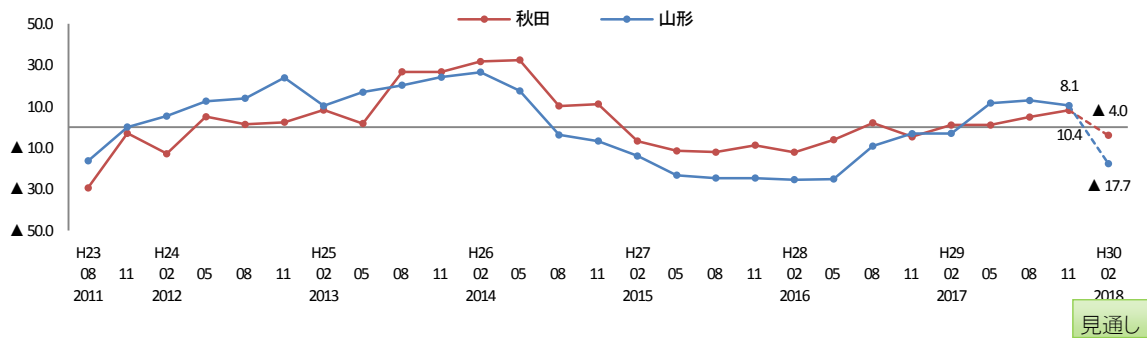
(2)業種別DI値の動向

① 建設業

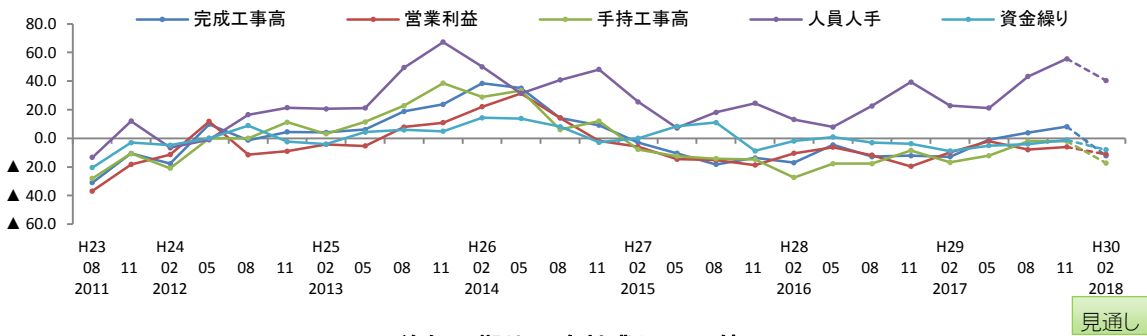
「自社の業況DI値(前年同期比)」は8.1(前回調査比3.2ポイント上昇)と2期連続で改善し、4期連続で「良い」超となった。「各種DI値(前年同期比)」をみると、「人員人手」がさらに上昇し人手不足感を一段と強めたほか、「完成工事高」「営業利益」「資金繰り」の3項目も改善した。一方、「手持工事高」は横ばいとなった。この背景として、民間工事が減少基調にあるものの、夏季の大雨による災害復旧工事で公共工事が増加したことが挙げられる。

先行き見通しは、「自社の業況DI値(前年同期比)」が▲4.0(今回調査比12.1ポイント下落)と悪化が見込まれている。

図表4 建設業「自社業況DI値(前年同期比)」の推移



図表5 建設業「各種DI値(前年同期比)」の推移



前年同期比の自社業況DI値

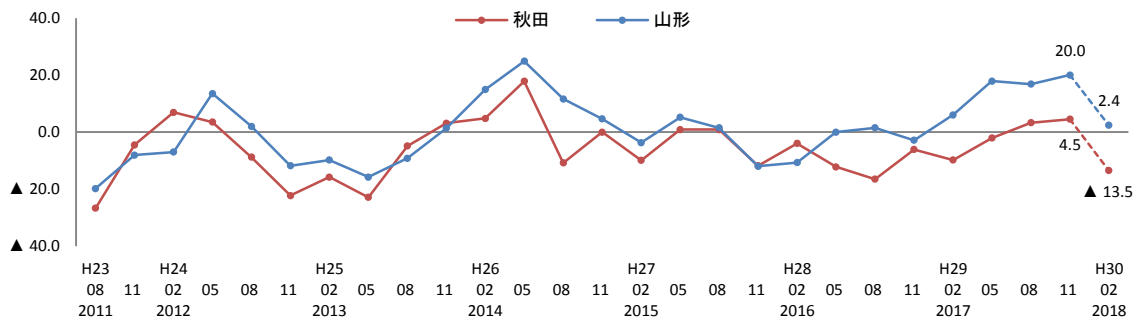
建設業 調査時(サンプル数)	自社業況(前年同期比)			完成 工事高	営業 利益	手持 工事高	人員 人手	資金 繰り
	前回調査比	前回調査予測						
H28.11 (n=107)	▲4.7	▲6.7	▲13.8	▲12.1	▲19.6	▲8.4	39.3	▲3.8
H29.02 (n=101)	1.0	5.7	▲14.0	▲12.9	▲9.9	▲16.8	22.8	▲8.9
H29.05 (n=99)	1.0	0.0	▲24.7	▲1.0	▲2.0	▲12.1	21.2	▲5.1
H29.08 (n=102)	4.9	3.9	▲11.1	3.9	▲7.9	▲2.0	43.2	▲4.0
H29.11 (n=99)	8.1	(3.2)	▲8.8	8.1	▲6.0	▲2.0	55.6	▲1.1
前回調査比	-	-	-	(4.2)	(1.9)	(0.0)	(12.4)	(2.9)
先行き見通し	▲4.0	-	-	▲12.1	▲11.1	▲17.2	40.4	▲8.0
今回調査比	(▲12.1)	-	-	(▲20.2)	(▲5.1)	(▲15.2)	(▲15.2)	(▲6.9)

② 製造業

「自社の業況DI値(前年同期比)」は4.5(前回調査比1.2ポイント上昇)と3期連続で改善し、2期連続で「良い」超となった。各種DI値(前年同期比)」でみると、「人員人手」が改善した一方、その他の5項目は悪化した。原材料費や燃料費の上昇傾向はあるものの、自動車やスマートフォン関連の堅調を受けて電気機械など一部の製造業では回復傾向がうかがえた。

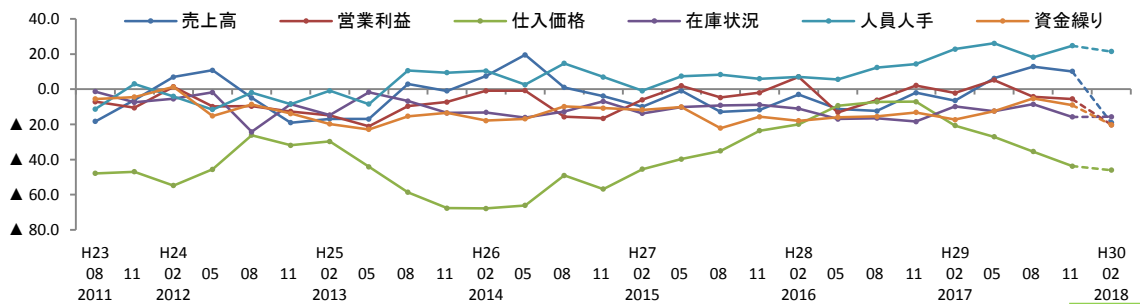
業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値(前年同期比)」が▲13.5(今回調査比18.0ポイント下落)と悪化が見込まれている。

図表6 製造業「自社業況DI値(前年同期比)」の推移



見通し

図表7 製造業「各種DI値(前年同期比)」の推移



見通し

前年同期比の自社業況DI値

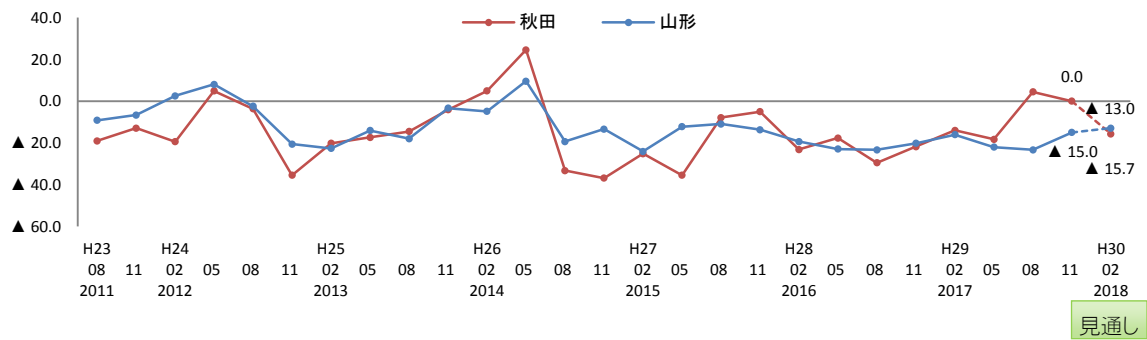
製造業 調査時(サンプル数)	自社業況(前年同期比)			売上高	営業利益	仕入価格	在庫状況	人員人手	資金繰り
	前回調査比	前回調査予測							
H28.11(n=98)	▲6.1	10.4	▲17.6	▲2.0	2.1	▲7.1	▲18.4	14.3	▲13.2
H29.02(n=92)	▲9.8	▲3.7	▲23.5	▲6.5	▲2.2	▲20.7	▲9.8	22.8	▲17.3
H29.05(n=96)	▲2.1	7.7	▲20.7	6.2	5.2	▲27.1	▲12.5	26.1	▲12.5
H29.08(n=93)	3.3	5.4	▲8.3	12.9	▲4.3	▲35.5	▲8.6	18.2	▲5.3
H29.11(n=89)	4.5	(1.2)	▲6.5	10.1	▲5.6	▲43.8	▲15.8	24.7	▲9.0
前回調査比	-	-	-	(▲2.8)	(▲1.3)	(▲8.3)	(▲7.2)	(6.5)	(▲3.7)
先行き見通し	▲13.5	-	-	▲19.1	▲20.2	▲46.1	▲15.7	21.4	▲20.2
今回調査比	(▲18.0)	-	-	(▲29.2)	(▲14.6)	(▲2.3)	(0.1)	(▲3.3)	(▲11.2)

③ 卸・小売業

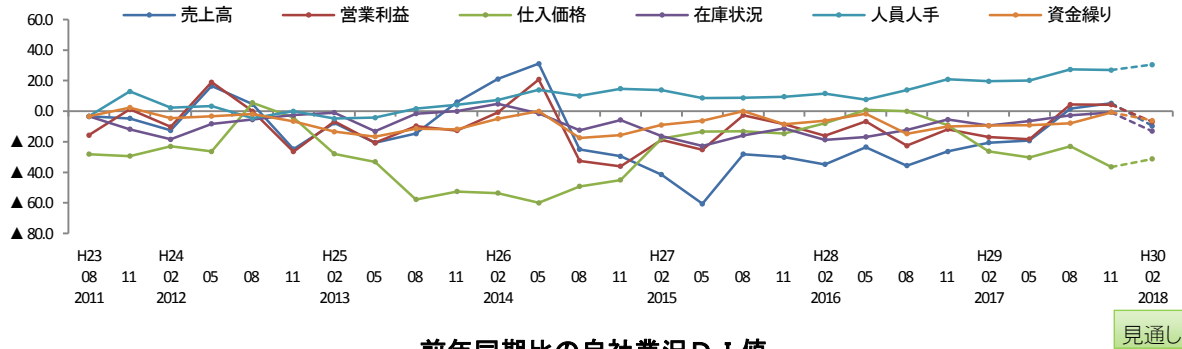
「自社の業況DI値(前年同期比)」は0.0(前回調査比4.4ポイント下落)と2期ぶりに悪化した。「各種DI値(前年同期比)」でみると、「売上高」「在庫状況」「資金繰り」は改善となった一方、「営業利益」「仕入価格」「人員人手」は悪化となった。消費者の節約志向や慢性的な人手不足の影響が続き、自社業況には総じて足踏み感がうかがえるものの、各社のコメントをみると、ガソリンスタンドや医療関係など一部の業種には上向き傾向がうかがえた。

業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値(前年同期比)」が▲15.7(今回調査比15.7ポイント下落)と悪化が見込まれている。

図表8 卸・小売業「自社業況DI値(前年同期比)」の推移



図表9 卸・小売業「各種DI値(前年同期比)」の推移



前年同期比の自社業況DI値

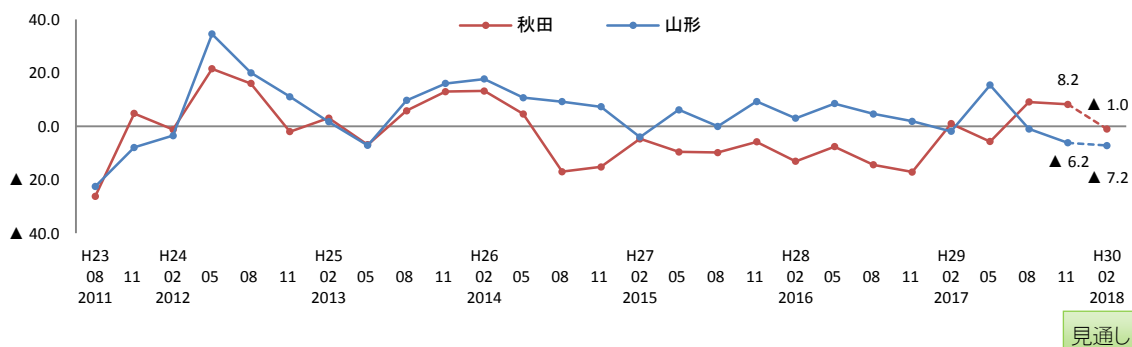
卸・小売業 調査時(サンプル数)	自社業況(前年同期比)			売上高	営業利益	仕入価格	在庫状況	人員人手	資金繰り
	前回調査比	前回調査予測							
H28.11 (n=110)	▲21.8	7.8	▲17.4	▲26.4	▲11.8	▲9.1	▲5.5	20.9	▲10.0
H29.02 (n=107)	▲14.0	7.8	▲9.1	▲20.6	▲16.9	▲26.2	▲9.4	19.6	▲9.4
H29.05 (n=109)	▲18.3	▲4.3	▲25.2	▲19.2	▲18.3	▲30.3	▲6.4	20.2	▲9.1
H29.08 (n=113)	4.4	22.7	▲17.4	1.7	4.4	▲23.0	▲2.7	27.4	▲7.9
H29.11 (n=115)	0.0	(▲4.4)	▲12.4	5.2	4.3	▲36.5	▲0.8	26.9	▲0.8
前回調査比	-	-	-	(3.5)	(▲0.1)	(▲13.5)	(1.9)	(▲0.5)	(7.1)
先行き見通し	▲15.7	-	-	▲9.6	▲6.9	▲31.3	▲13.1	30.5	▲6.1
今回調査比	(▲15.7)	-	-	(▲14.8)	(▲11.2)	(5.2)	(▲12.3)	(3.6)	(▲5.3)

④ サービス業

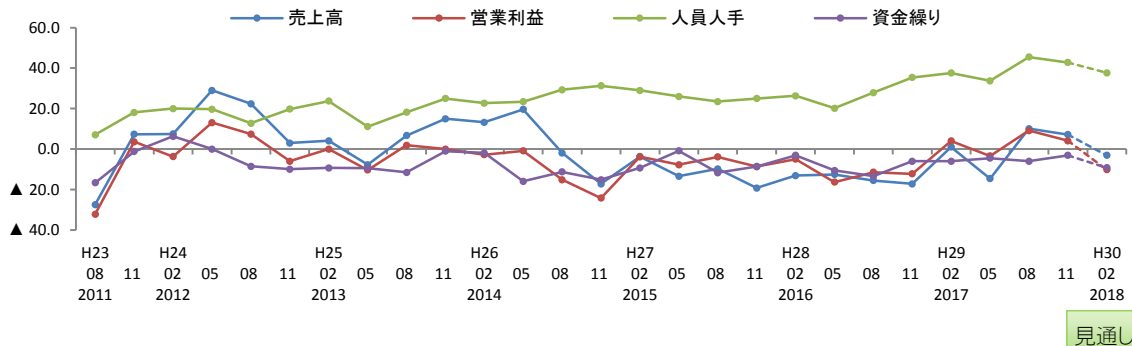
「自社の業況DI値(前年同期比)」は8.2(前回調査比0.9ポイント下落)と2期ぶりに悪化したものの、引き続き「良い」超となった。「各種DI値(前年同期比)」で見ると、「資金繰り」が改善した一方、その他の3項目は悪化となった。総じてみれば依然回復感に乏しい状況ながら、宿泊業や建機レンタル業、運輸関係などの一部では改善の動きが見られた。

業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値(前年同期比)」が▲1.0(今回調査比9.2ポイント下落)と悪化が見込まれている。

図表 10 サービス業「自社業況DI値(前年同期比)」の推移



図表 11 サービス業「各種DI値(前年同期比)」の推移



前年同期比の自社業況DI値

サービス業 調査時(サンプル数)	自社業況(前年同期比)			売上高	営業利益	人員 人手	資金 繰り
	前回調査比	前回調査予測					
H28.11(n=99)	▲17.1	▲2.7	▲13.4	▲17.2	▲12.2	35.4	▲6.0
H29.02(n=101)	1.0	18.1	▲10.1	1.0	4.0	37.6	▲6.0
H29.05(n=89)	▲5.7	▲6.7	▲13.9	▲14.6	▲3.4	33.7	▲4.5
H29.08(n=99)	9.1	14.8	▲8.9	10.1	9.1	45.5	▲6.0
H29.11(n=98)	8.2	(▲0.9)	▲4.1	7.2	4.1	42.8	▲3.1
前回調査比	-	-	-	(▲2.9)	(▲5.0)	(▲2.7)	(2.9)
先行き見通し	▲1.0	-	-	▲3.1	▲10.2	37.7	▲9.2
今回調査比	(▲9.2)	-	-	(▲10.3)	(▲14.3)	(▲5.1)	(▲6.1)

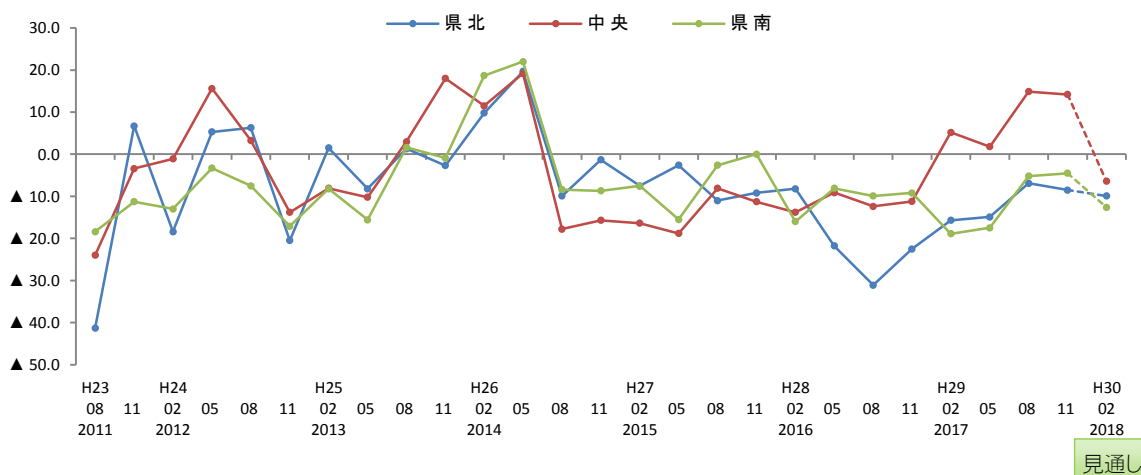
3. 地域別の動向

(1) 地域別の概況

地域別に「自社の業況DI値(前年同期比)」をみると、県北が▲8.5(前回調査比 1.6ポイント下落)、中央が 14.2(同 0.7ポイント下落)、県南が▲4.5(同 0.7ポイント上昇)と、県北と中央が悪化した一方、県南が改善した。中央は2期ぶりの低下となったものの、4期連続で「良い」超となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値(前年同期比)」をみると、いずれの地域でも悪化が見込まれている。

図表 12 地域別「自社業況DI値(前年同期比)」の推移



前年同期比の自社業況DI値

地域別 調査時(サンプル数)	自社業況(前年同期比)			
	全地域	県北	中央	県南
H 28.11 (n=414)	▲ 12.6	▲ 22.5	▲ 11.2	▲ 9.2
H 29.02 (n=401)	▲ 5.5	▲ 15.7	5.2	▲ 18.9
H 29.05 (n=393)	▲ 6.6	▲ 14.9	1.8	▲ 17.5
H 29.08 (n=407)	5.4	▲ 6.9	14.9	▲ 5.2
H 29.11 (n=401)	5.0	▲ 8.5	14.2	▲ 4.5
前回調査比	(▲ 0.4)	(▲ 1.6)	(▲ 0.7)	(0.7)
先行き見通し	▲ 8.7	▲ 9.9	▲ 6.4	▲ 12.6
今回調査比	(▲ 13.7)	(▲ 1.4)	(▲ 20.6)	(▲ 8.1)

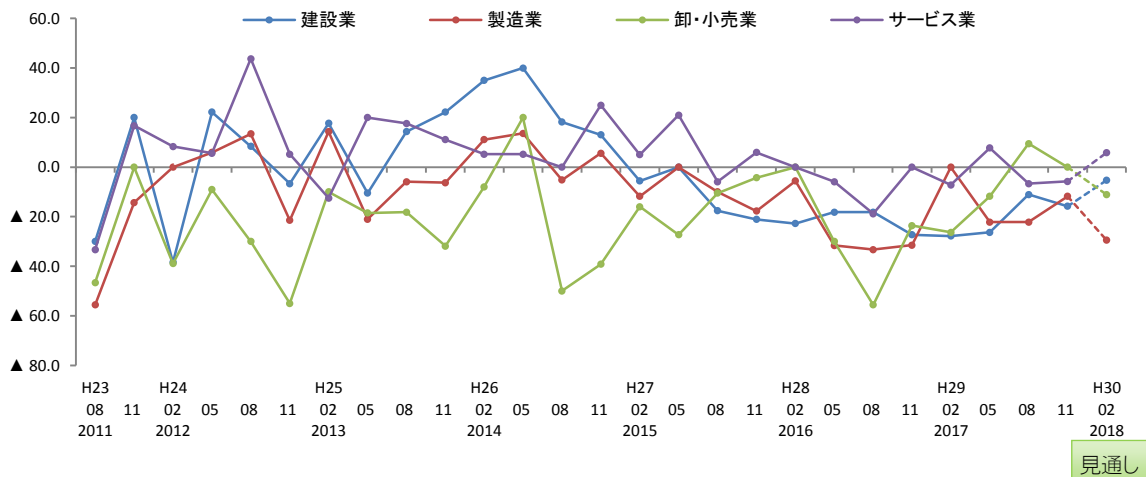
(2) 地域別 D I 値の動向

① 県北

「自社の業況 D I 値(前年同期比)」は▲8.5(前回調査比 1.6 ポイント下落)と 5 期ぶりの悪化となった。業種別では、製造業とサービス業で改善となったものの、建設業と卸・小売業では悪化となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値(前年同期比)」が▲9.9(今回調査比 1.4 ポイント下落)と小幅ながら悪化が見込まれている。業種別では、建設業とサービス業では改善、製造業と卸・小売業では悪化の見通しとなっている。

図表 13 県北業種別「自社業況 D I 値(前年同期比)」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

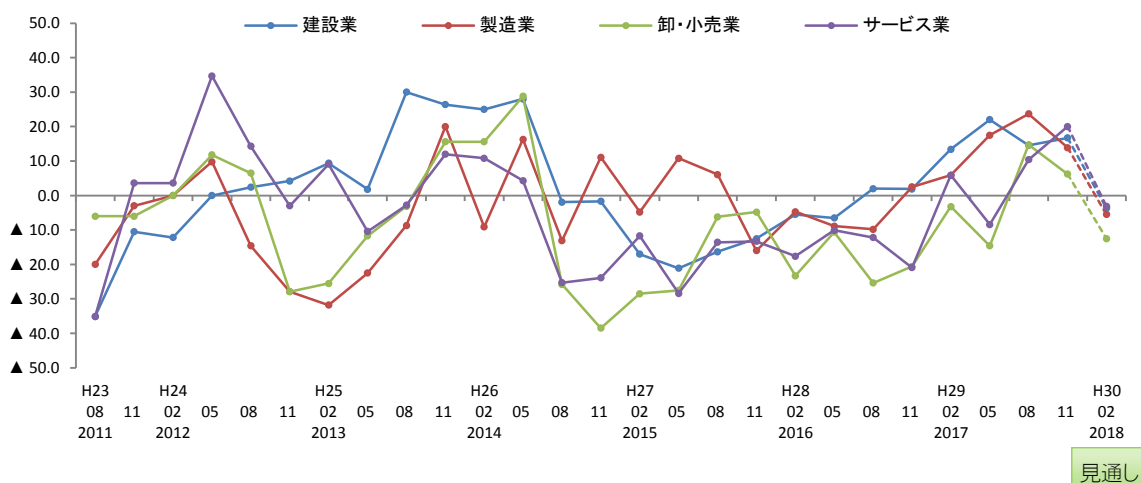
県北 調査時(サンプル数)	自社業況(前年同期比)				
	建設	製造	卸・小売	サービス	
H 28.11 (n=71)	▲ 22.5	▲ 27.3	▲ 31.5	▲ 23.6	0.0
H 29.02 (n=70)	▲ 15.7	▲ 27.8	0.0	▲ 26.3	▲ 7.2
H 29.05 (n=67)	▲ 14.9	▲ 26.3	▲ 22.2	▲ 11.8	7.7
H 29.08 (n=72)	▲ 6.9	▲ 11.1	▲ 22.2	9.5	▲ 6.7
H 29.11 (n=71)	▲ 8.5	▲ 15.8	▲ 11.8	0.0	▲ 5.8
前回調査比	(▲ 1.6)	(▲ 4.7)	(10.4)	(▲ 9.5)	(0.9)
先行き見通し	▲ 9.9	▲ 5.3	▲ 29.4	▲ 11.1	5.8
今回調査比	(▲ 1.4)	(10.5)	(▲ 17.6)	(▲ 11.1)	(11.6)

② 中央

「自社の業況D I 値(前年同期比)」は 14.2(前回調査比 0.7 ポイント下落)と2期ぶりに悪化したものの、4期連続で「良い」超となった。業種別では、建設業とサービス業が改善した一方、製造業と卸・小売業では悪化となったものの、4業種すべてで引き続き「良い」超となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況D I 値(前年同期比)」が▲6.4(今回調査比 20.6 ポイント下落)と悪化が見込まれている。業種別でみると、すべての業種で悪化の見通しとなっている。

図表 14 中央業種別「自社業況D I 値(前年同期比)」の推移



前年同期比の自社業況D I 値

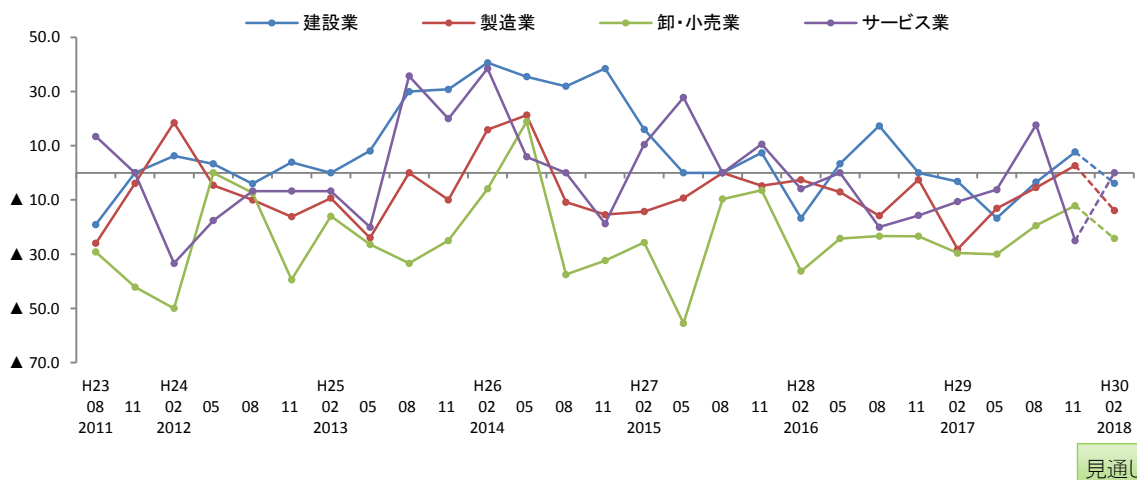
中央 調査時(サンプル数)	自社業況(前年同期比)				
	建設	製造	卸・小売	サービス	
H 28.11 (n=223)	▲ 11.2	1.9	2.5	▲ 20.6	▲ 20.9
H 29.02 (n=215)	5.2	13.4	5.9	▲ 3.2	5.9
H 29.05 (n=212)	1.8	22.0	17.5	▲ 14.6	▲ 8.4
H 29.08 (n=221)	14.9	14.6	23.7	14.7	10.4
H 29.11 (n=219)	14.2	16.7	13.9	6.2	20.0
前回調査比	(▲ 0.7)	(2.1)	(▲ 9.8)	(▲ 8.5)	(9.6)
先行き見通し	▲ 6.4	▲ 3.7	▲ 5.5	▲ 12.5	▲ 3.1
今回調査比	(▲ 20.6)	(▲ 20.4)	(▲ 19.4)	(▲ 18.7)	(▲ 23.1)

③ 県南

「自社の業況DI値(前年同期比)」は▲4.5(前回調査比0.7ポイント上昇)と3期連続で改善した。業種別にみると、前回大幅な改善となったサービス業が▲25.0(同42.7ポイント下落)と大幅に悪化し、再び「悪い」超に転じたものの、その他の3業種はいずれも改善し、建設業と製造業は「良い」超となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値(前年同期比)」が▲12.6(今回調査比8.1ポイント下落)と悪化が見込まれている。業種別では、サービス業は改善、その他の3業種では悪化が見込まれている。

図表 15 県南業種別「自社業況DI値(前年同期比)」の推移

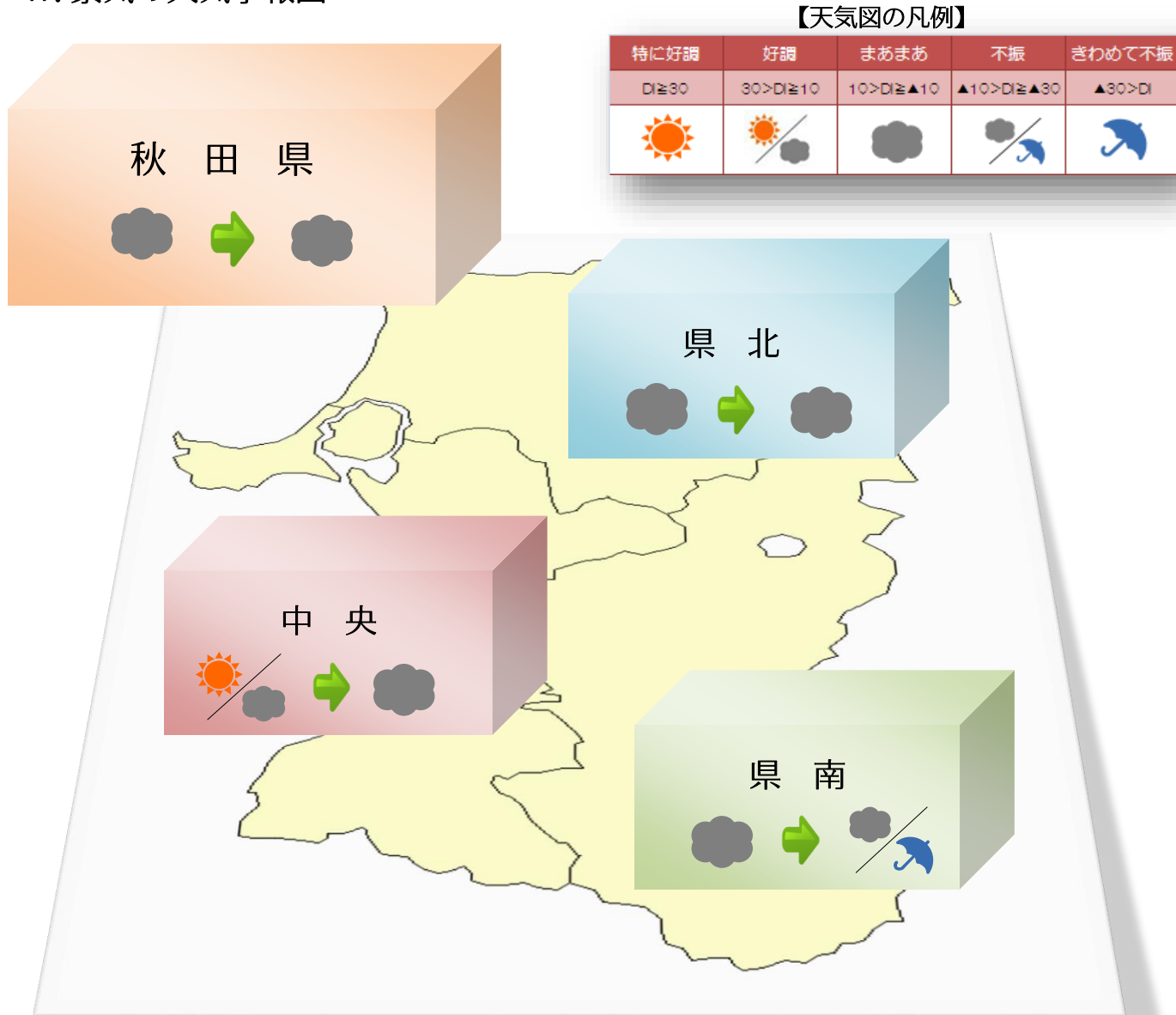


見通し

前年同期比の自社業況DI値

県南 調査時(サンプル数)	自社業況(前年同期比)				
	建設	製造	卸・小売	サービス	
H 28.11 (n=120)	▲9.2	0.0	▲2.5	▲23.4	▲15.7
H 29.02 (n=116)	▲18.9	▲3.2	▲28.2	▲29.6	▲10.6
H 29.05 (n=114)	▲17.5	▲16.7	▲13.1	▲30.0	▲6.2
H 29.08 (n=114)	▲5.2	▲3.4	▲5.4	▲19.4	17.7
H 29.11 (n=111)	▲4.5	7.7	2.7	▲12.1	▲25.0
前回調査比	(0.7)	(11.1)	(8.1)	(7.3)	(▲42.7)
先行き見通し	▲12.6	▲3.8	▲13.9	▲24.2	0.0
今回調査比	(▲8.1)	(▲11.5)	(▲16.6)	(▲12.1)	(25.0)

II. 景気の天気予報図



今期の概況

	秋田県	県北	中央	県南
全業種				
建設				
製造				
卸・小売				
サービス				

来期の見通し

	秋田県	県北	中央	県南
全業種				
建設				
製造				
卸・小売				
サービス				



III. 特別調査

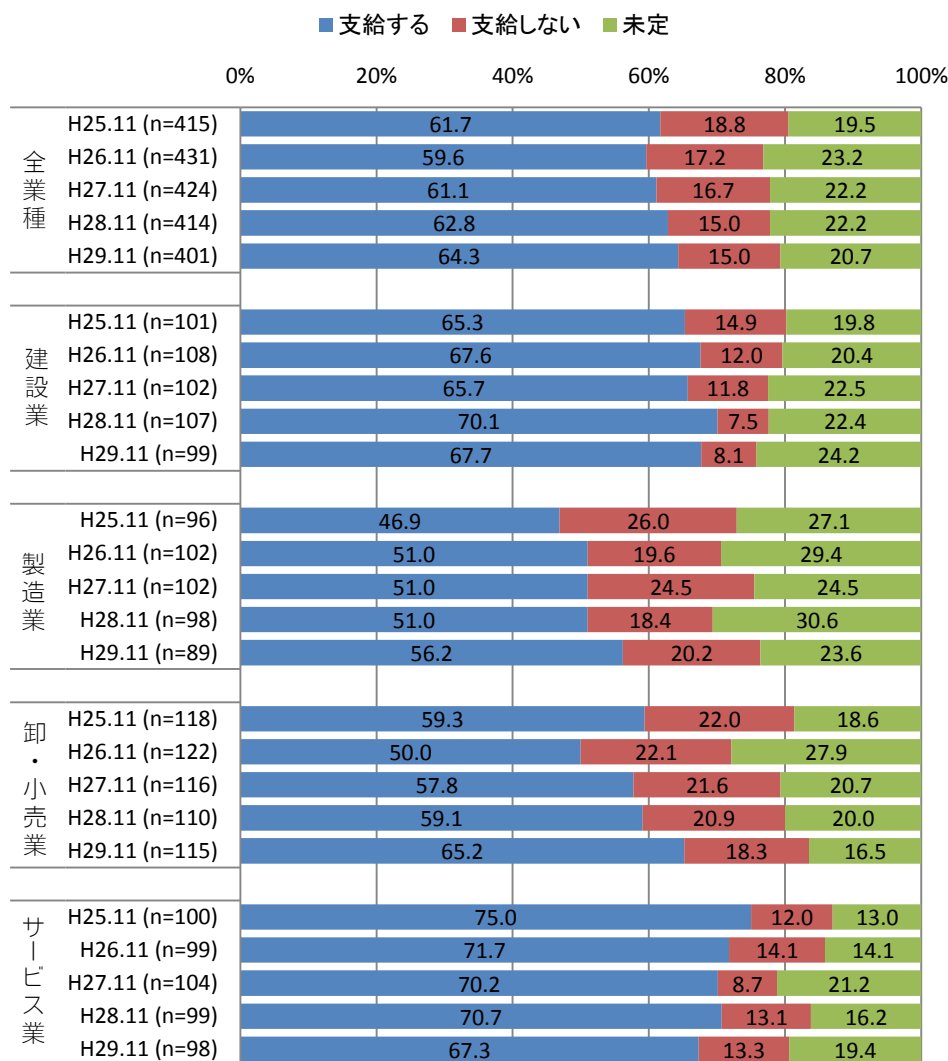
1. 冬季ボーナスについて

(1) 支給予定動向

冬季ボーナスの支給予定について尋ねたところ、「支給する」と回答した企業の割合は全業種では 64.3% (前年比 1.5 ポイント上昇) と、前年に比べて若干上昇し、3 期連続での上昇となった。一方、「支給しない」と回答した企業の割合は 15.0% (同±0.0 ポイント) と横ばいとなった。

業種別にみると、「支給する」と回答した企業の割合は、建設業が 67.7% (同 2.4 ポイント低下)、製造業が 56.2% (同 5.2 ポイント上昇)、卸・小売業が 65.2% (同 6.1 ポイント上昇)、サービス業が 67.3% (同 3.4 ポイント低下) と、製造業と卸・小売業が上昇した一方、建設業とサービス業は低下した。

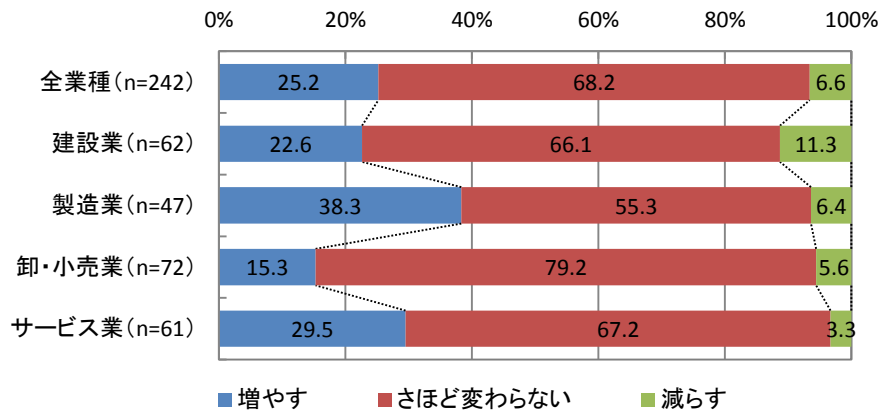
図表 16 業種別「冬季ボーナス支給動向」の推移



また、今季「支給する」と回答した企業に対し、昨年冬季と比べて支給額を増やすかどうか尋ねたところ、全業種でみると「さほど変わらない」と回答した企業の割合が最も高く、68.2%であった。

業種別にみると、「増やす」と回答した企業の割合が最も高いのは製造業(38.3%)で、一方、最も低いのは卸・小売業(15.3%)となった。また、「減らす」との回答は建設業(11.3%)で他の業種より幾分高い割合を示している。

図表 17 業種別「冬季ボーナスを“支給する”企業の方針」



(2) 支給予定額

冬季ボーナスの支給予定額は全業種平均で 29.0 万円と、昨年に比べ 1.6 万円の増加が見込まれている。

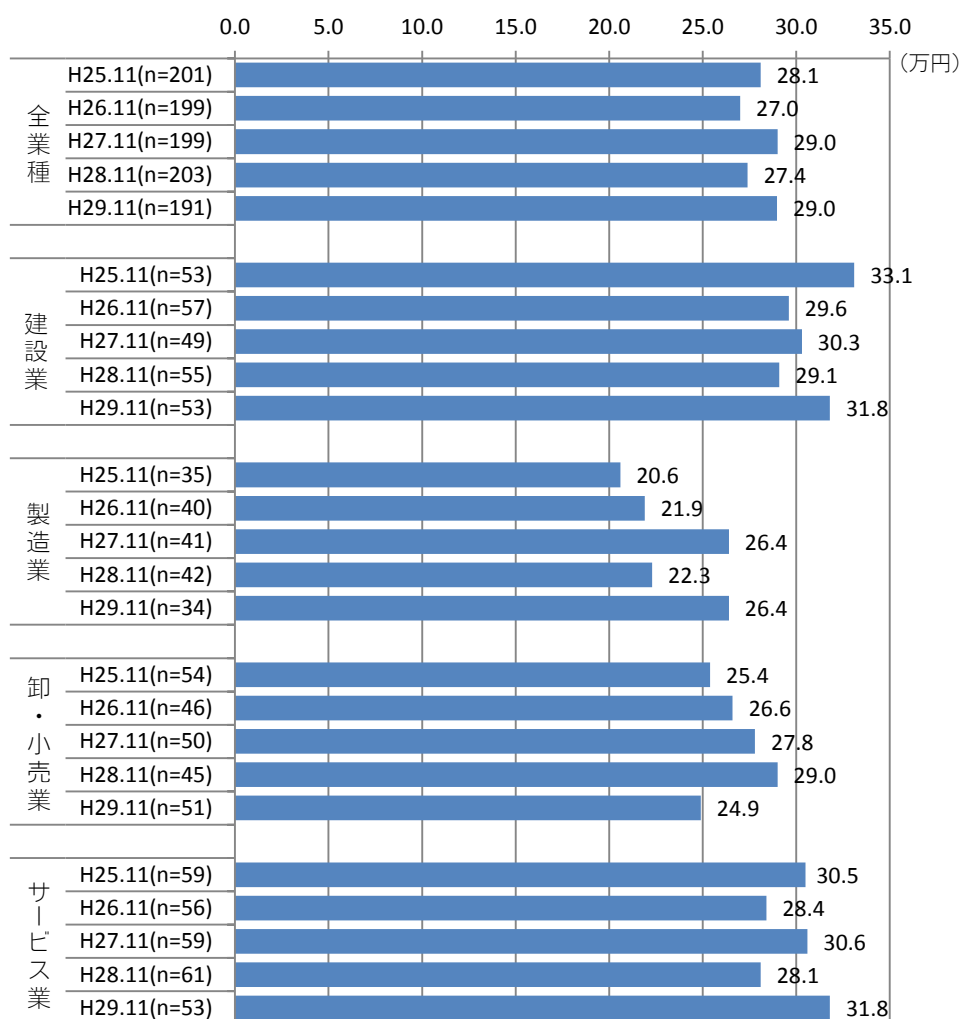
業種別に見ると、建設業とサービス業の 31.8 万円が最も高く、一方、卸・小売業の 24.9 万円が最も低くなっている。

昨年に比べ低下の見込みとなったのは卸・小売業の 1 業種のみで、他の 3 業種では増加が見込まれている。

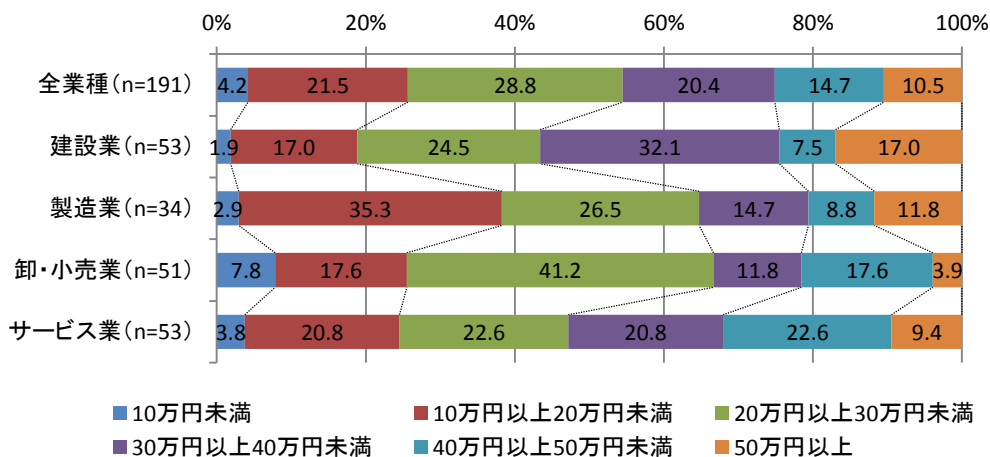
平均支給予定額は、全業種では「20 万円以上 30 万円未満」が 28.8%と、最も多くなっている(図表 19)。

平均支給予定月数は、全業種では「1.0 ヶ月以上 1.5 ヶ月未満」が 42.5%と、最も多くなっている(図表 20)。

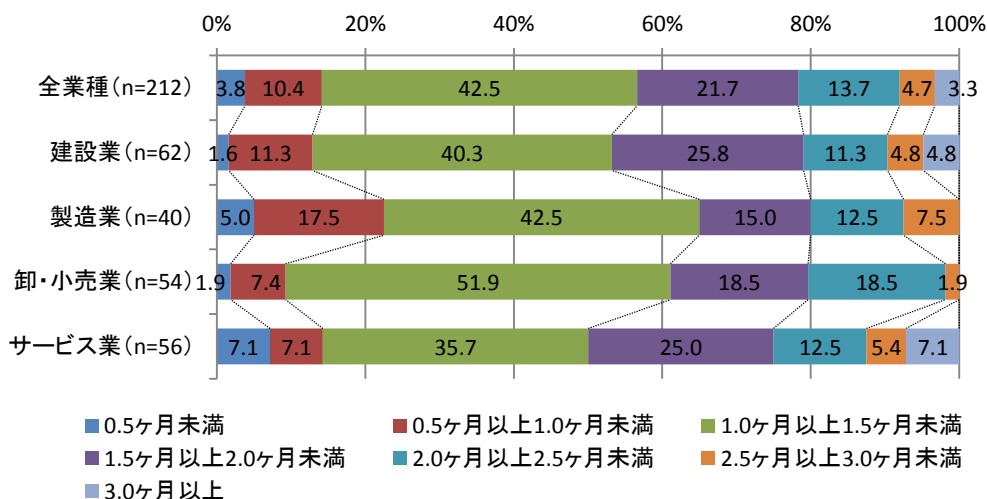
図表 18 業種別「冬季ボーナスの平均支給予定額」の推移



図表 19 業種別「冬季ボーナスの平均支給予定額」



図表 20 業種別「冬季ボーナスの平均支給予定月数」



<参考資料Ⅰ：業種別・地域別回答率>

(サンプル数：社)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合計
県北	27	26	27	26	106
中央	80	66	96	95	337
県南	41	63	49	34	187
合計	148	155	172	155	630

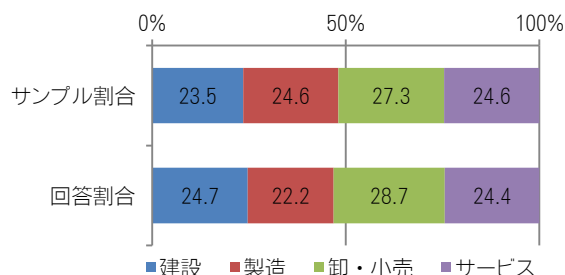
(回答数：社)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合計
県北	19	17	18	17	71
中央	54	36	64	65	219
県南	26	36	33	16	111
合計	99	89	115	98	401

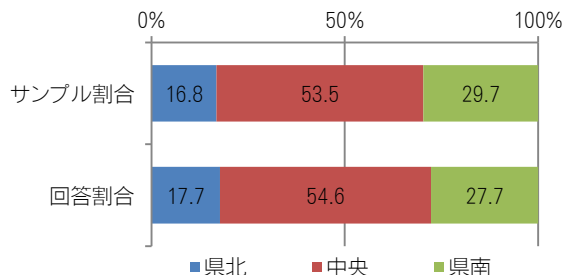
(回答率：%)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合計
県北	70.4	65.4	66.7	65.4	67.0
中央	67.5	54.5	66.7	68.4	65.0
県南	63.4	57.1	67.3	47.1	59.4
合計	66.9	57.4	66.9	63.2	63.7

(業種別：%)



(地域別：%)



<参考資料Ⅱ：調査の概要>

● 調査の目的

県内に本社を置いて企業活動を営む法人企業を対象に、各社の業況の現状と今後の見通しに関する判断を調査し、県内の景気動向について把握するために実施した。

● 調査の方法

インターネットを利用したアンケート調査(一部FAXを利用)。

● 調査期間

平成 29 年 11 月 1 日(水)～14 日(火)

● 地域区分

地域名	対象となる市町村名
県北	大館市、能代市、北秋田市、鹿角市、三種町、八峰町、小坂町、藤里町、上小阿仁村
中央	秋田市、由利本荘市、潟上市、男鹿市、にかほ市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村
県南	横手市、大仙市、湯沢市、仙北市、美郷町、羽後町、東成瀬村

● 調査の内容

アンケート調査は、各企業の業況判断について3肢択一方式を採っている。毎回必ず調査する「定例調査」と、調査時期にふさわしい経済トピックス等について調査する「特別調査」とを設けている。

項目	選択肢（択一方式）		
自社の業況(共通項目)	1. 良い	2. さほど変わらない	3. 悪い
業界の業況(共通項目)	1. 良い	2. さほど変わらない	3. 悪い
売上高(建設業を除く)	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った
完成工事高(建設業)	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った
営業利益(共通項目)	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った
人員や人手(共通項目)	1. 足りない	2. ちょうどよい	3. 余っている
資金繰り(共通項目)	1. 楽になった	2. さほど変わらない	3. 厳しい
原材料等の仕入価格(製造業のみ)	1. 下がった	2. さほど変わらない	3. 上がった
製(商)品の仕入価格(卸・小売業のみ)	1. 下がった	2. さほど変わらない	3. 上がった
在庫状況(製造業)	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った
手持工事高(建設業)	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った

(注)各項目とも「前年同期比」、「前期比」、「来期の見通し」について、それぞれ3肢択一方式を採っている。

● 集計方法

各項目とも、現状判断、先行き見通しについてそれぞれD I値を算出する。D I値とは、Diffusion Index(ディフュージョン・インデックス)の略で、算出方法は次の通り。

例)自社の業況D I値

$$= (\text{「1. 良い」と回答した企業の割合}) - (\text{「3. 悪い」と回答した企業の割合})$$

たとえば「自社の業況D I値」がプラスであれば、相対的に自社の業況が良いと判断した企業が多いことになる。また、業況の変化の方向(良くなっているか、悪くなっているか)についても分かる。

ちなみに、他のD I値についても同様に、選択肢「1. 」(「調査の内容」の「選択肢」欄をご参照のこと)を選んだ企業の割合から選択肢「3. 」を選んだ企業の割合を差し引いて算出する。

<お知らせ>

F S N会員専用ホームページ(<http://www.bb-town.jp/cgi-bin/fsn.cgi>)にアクセスすると、統計データの最新版をダウンロードすることができます。こちらも是非ご利用ください。なお、過去の調査レポートや統計データは当社ホームページ(<http://www.f-ric.co.jp/>)「調査レポート」コーナーからダウンロードすることができます。

<お問い合わせ先>

株式会社フィデア総合研究所 地域コンサルティンググループ 後藤(秋田本部)／佐藤(秋田本部)

・秋田本部

〒010-0001 秋田県秋田市中通 3-1-41 北都銀行本店 6F

TEL : 018-837-1727 Fax : 018-834-5508

・山形本社

〒990-0043 山形県山形市本町 1-4-21 荘銀山形ビル 8F

TEL : 023-626-9017 Fax : 023-626-9038 E-mail : kenkyuu@f-ric.co.jp

URL : <http://www.f-ric.co.jp>